

何故、労働組合は政治に取り組むんですか？

既読



労働組合が解決できない課題を解決するには政治の取り組みが必要だからです。

例：給与明細と政治

賃金	基本給	職能給	家族手当	超過勤務手当	賃金計
	130,000	162,500	20,000	0	312,500
社会保険料	健康保険	厚生年金	雇用保険		社会保険料計
	13,120	21,728	2,500		37,348
税金等	所得税	住民税			税金等計
	6,235	6,230			12,465
一般控除	組合費	財形貯蓄	共済会費		一般控除計
	6,500	20,000	3,000		29,500
				差引支給額	233,187

企業との交渉
(労働組合)



政治の場で議論
(政治家)



何故政治の取り組みが必要なのか、一例を紹介します。上の画像は、一般的な給与明細をイメージした画像です。明細右上の「賃金計」の部分は皆さんの職場の労働組合と会社の交渉で決まります。一方、賃金の15～20%を支払っているオレンジ枠の社会保険料や税金の額・使い道は労働組合と会社が交渉しても決められません、これらは政治の場で議論されて決まります。支払う額や使い道に対して労働者の思い・考えを反映するには、政治への取り組みが必要となります。

皆様からの現場の声や応援の声をお待ちしています！是非フォームに送ってください！※個別返信はできません。ご容赦ください。

